

第8回シンポジウム

『未来志向の次世代食品機能性と自然免疫』

日時 平成31年3月15日(金) 13:00~17:45 (12:00受付開始)

場所 笹川記念会館 鳳凰の間(東京都港区三田3-12-12)

入場料 一般:1,000円 学 生:500円

定員150名:申込先着順

プ ロ グ ラ ム

13:00~13:25 開会挨拶

自然免疫制御技術研究組合 代表理事 杣 源一郎
内閣府 政策統括官(科学技術・イノベーション担当)付
農林水産省 農林水産技術会議事務局
経済産業省 商務情報政策局 生物化学産業課
一般財団法人バイオインダストリー協会

13:25~14:55 講演 (前半の部)

(13:25~13:55) 「血管機能改善効果の観点からの黒大豆ポリフェノールの機能性」
芦田 均 氏 (神戸大学大学院 農学研究科 教授)

(13:55~14:25) 「食品の機能性評価研究事例」
亀井 飛鳥 氏 (神奈川県立産業技術総合研究所 主任研究員)

(14:25~14:55) 「身体ロコモーション改善に資する食品素材」
岡田 晋治 氏 (東京大学大学院 農学生命科学研究科 准教授)

14:55~15:10 休憩

15:10~17:40 講演 (後半の部)

(15:10~15:40) 「近未来型宇宙食糧ソリューションの提案」
二川 健 氏 (徳島大学大学院 医歯薬学研究部 教授)

(15:40~16:10) 「高齢者の身体能力に及ぼす運動×機能性食品の相乗効果
~時間栄養学・運動学の観点から~」
田中 史子 氏 (早稲田大学重点領域研究機構 次席研究員)

(16:10~16:40) 「光センシングによるホメオスタシス多視点評価オンサイトシステム」
数村 公子 氏 (浜松ホトニクス株式会社 中央研究所 専任部員)

(16:40~17:40) 「LPS経口投与によるアルツハイマー病予防・治療効果のポテンシャル」
稲川 裕之 (自然免疫制御技術研究組合 研究開発本部長)

17:40~17:45 閉会挨拶

自然免疫制御技術研究組合 副代表理事 上田 和男

(本シンポジウム終了後、交流会(18:00~19:30、会費5,000円)を開催します)

主催 ホメオスタシス多視点評価システム開発グループコンソーシアム
(内閣府 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)次世代農林水産業創造技術「次世代機能性農林水産物・食品の開発」のコンソーシアム)
自然免疫制御技術研究組合
共催 (国研)農研機構 生研支援センター
後援 経済産業省、(国研)科学技術振興機構、香川大学、(公財)北海道科学技術総合振興センター、
(予定) (一財)バイオインダストリー協会、(公財)かがわ産業支援財団、(一財)四国産業・技術振興センター

◆問い合わせ先◆

自然免疫制御技術研究組合(中本・川西) TEL:(087)813-9201 FAX:(087)813-9203

第8回シンポジウム

『未来志向の次世代食品機能性と自然免疫』の開催にあたり

「自然免疫制御技術研究組合」は、糖脂質(リポ多糖、LPS)等を用いて自然免疫を制御する有用な技術を開発する目的で、平成22年3月8日、経済産業省の認可を受け、全国で12番目、四国では初めての技術研究組合として設立されました。現在、自然免疫活性を制御するさまざまな新規な素材の研究開発に取り組むとともに、自然免疫制御による健康維持戦略の確立に向けリテラシー向上にも力を注いでおります。

また、平成26年度には、内閣府の主導する戦略的イノベーション創造プログラム(略称SIP)次世代農林水産業創造技術において、東京大学大学院・阿部啓子特任教授が取りまとめられる「次世代機能性農林水産物・食品の開発」に属する「ホメオスタシス多視点評価システム開発グループコンソーシアム」(代表研究機関:自然免疫制御技術研究組合)が採択され、それ以降30年度までの5年間にわたって、「ホメオスタシス維持機能をもつ農林水産物・食品の機能性成分評価手法の開発と作用機序の解明」にむけて研究開発を進めてまいりました。

当コンソーシアムでは、多成分を含む食品や運動の「ホメオスタシス維持機能」の評価には、個体の酸化ストレス抵抗性と異物排除能を高感度かつ低侵襲で総合的に評価できる、ヒト介入試験等で検証された測定システムの開発が不可欠であるとの技術課題に取り組んできた結果、ホメオスタシス維持に自然免疫力がその一翼を担っていることは疑いのないところです。

日本が長寿国家であることは誇るべきことでありますが、その一方で、高齢化に伴い医療費が増加している事実にも表れているように、必ずしも健康とは言えない状態にある高齢者も少なくありません。超高齢社会において良好なQOLを保つ対策を具体的に提供することは、今後の大きな課題の一つであることは明かです。その具体的な取組として、食品機能には「自然免疫力」の低下を抑えることで疾患リスクの低減を図り、病気からの回復を早めることなどが期待されており、これらを背景として、食品の自然免疫に働きかける成分は、次世代食品機能性のひとつとして、これにより健康維持に資する研究は広がりを見せています。

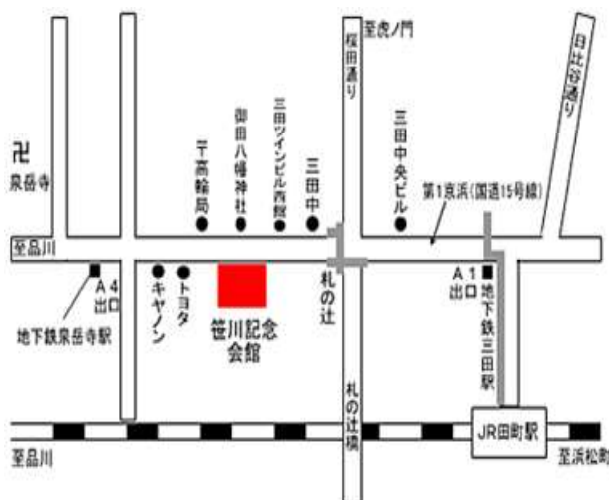
本書にてご案内申し上げます「第8回シンポジウム『未来志向の次世代食品機能性と自然免疫』」は、第I期SIPが終了を迎えようとしている中、これまでの取り組みで得られた研究成果を広く一般の皆様へ公開するSIP事業のアウトリーチ活動として、健康寿命の延伸と直結する食品機能に着目して昨年に引き続き「ホメオスタシス多視点評価システム開発グループコンソーシアム」と「自然免疫制御技術研究組合」が共催で開催させて頂くものです。

つきましては、今回は、これまでのシンポジウムとは様式を変え、SIPでご活躍の若い先生方を中心に研究に関するお話を出来るだけ数多く頂く機会とし、神戸大学大学院教授 芦田 均氏、神奈川県立産業技術総合研究所 主任研究員 亀井 飛鳥氏、東京大学大学院准教授 岡田 晋治氏、徳島大学大学院教授 二川 健氏、浜松ホトニクス株式会社 専任部員 数村 公子氏、早稲田大学 次席研究員 田中 史子氏を講師としてお迎えするとともに、本組合からは研究開発本部長の稲川 裕之よりLPS摂取の健康維持における重要性について講演させて頂きたいと存じます。

本シンポジウムが免疫関連の研究者、予防医療や健康産業に携わっておられる各界の皆様、そして免疫に興味をお持ちの皆様へ、未来志向の食品機能性と自然免疫に関する研究と開発の現状やこれからの展望を理解していただく機会になるとともに、SIP事業への普及広報につながれば幸いと存じます。

たくさんの方々にご出席を賜りますよう、ご案内申し上げます。

笹川記念会館 アクセスマップ



最寄りの交通機関

- ・都営地下鉄三田線
「三田」駅下車A1出口から徒歩6分
- ・都営地下鉄浅草線
「泉岳寺」駅下車A4出口から徒歩3分
- ・JR山手線
「田町」駅下車三田口から徒歩8分

笹川記念会館

〒108-0073 東京都港区三田3-12-12
TEL 03-3454-5062 (代表)

講演者紹介



芦田 均 氏

神戸大学大学院農学研究科 教授

戦略的イノベーション創造プログラム
次世代農林水産業創造技術
「次世代機能性農林水産物・食品の
開発」のコンソーシアム
「脳機能活性化コンソーシアム」担当



亀井 飛鳥 氏

地方独立行政法人
神奈川県立産業技術総合研究所
食品機能性評価グループ
主任研究員

戦略的イノベーション創造プログラム
次世代農林水産業創造技術
「次世代機能性農林水産物・食品の
開発」のコンソーシアム
「脳機能活性化コンソーシアム」担当



岡田 晋治 氏

東京大学大学院
農学生命科学研究科 准教授

戦略的イノベーション創造プログラム
次世代農林水産業創造技術
「次世代機能性農林水産物・食品の
開発」のコンソーシアム
「身体・食品機能研究コンソーシア
ム」担当



二川 健 氏

徳島大学大学院医歯薬学研究部
教授

戦略的イノベーション創造プログラム
次世代農林水産業創造技術
「次世代機能性農林水産物・食品の
開発」のコンソーシアム
「身体・食品機能研究コンソーシア
ム」担当



田中 史子 氏

早稲田大学重点領域研究機構
次席研究員

戦略的イノベーション創造プログラム
次世代農林水産業創造技術
「次世代機能性農林水産物・食品の
開発」のコンソーシアム
「時間栄養・運動レシピコンソーシア
ム」ヒト試験を担当



數村 公子 氏

浜松ホトニクス株式会社
中央研究所 専任部員

戦略的イノベーション創造プログラム
次世代農林水産業創造技術
「次世代機能性農林水産物・食品の
開発」のコンソーシアム
「ホメオスタシス多視点評価システ
ム開発グループ」副代表



稲川 裕之

自然免疫制御技術研究組合
研究開発本部長

次世代農林水産業創造技術
「次世代機能性農林水産物・食品の
開発」のコンソーシアム
「ホメオスタシス多視点評価システ
ム開発グループ」研究実施責任者

新潟薬科大学
健康・自立総合研究機構
特別招聘教授



杣 源一郎

自然免疫制御技術研究組合
代表理事

次世代農林水産業創造技術
「次世代機能性農林水産物・食品の
開発」のコンソーシアム
「ホメオスタシス多視点評価システ
ム開発グループ」研究代表者

申込期限：3月11日(月)

第8回シンポジウム『未来志向の次世代食品機能性と自然免疫』参加申込書

参加ご希望の方は、以下の太線枠内に必要事項をすべてご記入の上、FAXまたは電子メールにてお申し込みください(個人で参加される方は、連絡先とお名前のみご記入ください)。

★先着順にてお申込の受付を致します。席に限りがございますので、定員に達した場合はお断りさせて頂く場合もございます。予めご了承下さい。

企業・団体・大学名		
連絡先	TEL:	FAX:
	電子メールアドレス: ※アンダーバー(_)とハイフン(-)の違いにご注意ください。	
	ホームページURL:	

お名前	所 属 ・ 役 職	交流会【18:00～19:30】 (どちらかに○を付けて下さい。)
		参加 ・ 不参加
		参加 ・ 不参加
		参加 ・ 不参加
		参加 ・ 不参加
		参加 ・ 不参加

◆事務局よりのご案内

本シンポジウム終了後、同会場5階レストラン菊にて「交流会」(会費:5,000円※)を開催します。奮ってご参加下さい。
(※当日、受付でお支払下さい)

◆お申し込み先◆

FAX:(087)813-9203／電子メール:ciitra@shizenmeneki.org

本シンポジウムを知ったきっかけ (☐ を入れてください)	☐ 本組合ホームページ	☐ シンポジウムちらし
	☐ 知人・取引先の紹介	☐ 新聞記事(新聞名:)
	☐ その他(	)

※ご提出いただいた個人情報は、本シンポジウムの目的以外には使用いたしません。

◆問い合わせ先

〒761-0301 香川県高松市林町2217-16 FROM香川 バイオ研究室
自然免疫制御技術研究組合(中本・川西) TEL:(087)813-9201 FAX:(087)813-9203